



メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	報告：報告第41回 大阪大学夏祭り …… 1	コラム	春の多文化ボランティアセミナーを受けて～インターン大学生の雑感～ …… 6
報告	箕面市の外国人医療 現状と今後の課題 …… 3	コラム	ブリジッド・エリンの日記 …… 8
書評	「それでも、日本人は「戦争」を選んだ」を読む …… 5	カレンダー	2022年09月の comm cafe ランチカレンダー …… 9

報告

～暑い！アツい！夏祭り ReStaRt 1～

2022.7.9(土) 第41回 大阪大学夏祭り が開かれた！

阪大新箕面キャンパスのお祭りは、2021年10月の「箕面国際フェスティバル」以来2度目である。普段なかなか入れない学部内を一般の人々が自由に歩けるのはこのようなお祭りの時だけ。コロナ対策をしながらの開催は、実行委員会の学生たちも苦労が多かったと思うが、3年ぶりに開催することができたのだから感慨もひとしおだったろう。

当日は事前予約をした2,200人が祭りを楽しんだ。屋内企画、キャンパス3階のデッキ部分では屋外企画(ステージ)と模擬店そしてグッズ販売などが行われた。

箕面市国際交流協会は模擬店のひとつとして、comm cafe が出店。また、屋内企画として「情報誌めろん」、「みのおポスト」、「ファードス(あみぐるみの制作販売)」、「みのお外国人医療サポートネット」、そして「箕面東コミスポのポッチャのコーナー」を集め部屋を開設した。大勢の方に興味深く見て頂いたが、協会が小野原にある事を知らない人も多く、今後の課題と感じた。

またこの部屋では、CCJ.Capoeira Osaka コハダンジコンタス大阪による「カポエイラ(ブラジルの伝統武術)」も行われ盛り上がった。カポエイラは、ポルトガルが支配した頃のブラジルで、アフリカから連れてこられた奴隷たちが、身を守るために編み出した格闘護身術と言われる。雇い主が飛んで来ると音楽に合わせて踊っているように見せかけ、ひそかに練習を重ねた。小さな子どもから成人まで、男女の差もなく行える事から、日本でも愛好者が増えている。子どもや大人の華麗な技が決まるたびに、観客から大きな拍手があった。以下、めろん編集部メンバーがレポートする。(井嶋)



カポエイラを舞う、子どもたち

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：265名 法人会員数：25団体 (2022年8月21日現在)

・ ・ ・ めろんメンバーの覗いた「阪大夏祭り」 ・ ・ ・

コロナで夏祭りの中止が続き、今回の学生実行委員は全員夏祭りは未経験という。しかし箕面船場新校舎での初めての夏祭りを地域の人に楽しんでもらおうとステージ、食べ物コーナーなど色とりどりの企画で、大変楽しいお祭りであった。

ただ欲を言えば学生らしい、固い企画ももっとあって良かったか。講演会もあったが何故かパンフレットには掲載なし。「みのお医療サポートネット」のコーナーがあったが、外国人医療は共生社会での課題の一つ。言葉の壁の問題だが、学生の皆さんはどれくらい関心を持っていただいたであろうか。日本の将来を担う皆さんが今の社会の何に関心を持ち、どう行動しているか、そういう情報も今後はお願いしたい。普通の地域のお祭りとは一味違う、学生と地域で作る新しいお祭りをめざして欲しい。(荻野)



留学生とキャロムを興じる子どもたち

ようやくここまでできるようになったか、との感慨があった。やはり祭りは楽しい。今年は、入場が予約制であったり、展示や出店も制限があったようだが、来年以降はより賑わいが増すものと期待したい。ただ、これは今年の特異性のためかもしれないが、以前の外国語学部(その前の大阪外大の時代も含め)の祭りで感じられたある種の「濃厚さ」が薄れてきているようにも思う。学生以外の関連団体が入ったこともあるのかもしれない。以前はキャンパスに入ると、アフリカの太鼓が聞こえ、民族衣装で踊る学生たちがすぐ眼に入った。コロナでいろいろな活動を休止せざるを得なかったところもあるだろう。願わくは以前の濃厚さにプラスする形でこの祭りが充実していけば、と思う。(鷺尾)

「トイレ研究会」って何だろう？ パンフレットを見て一番に興味を惹かれ、展示部屋を訪れてみた。2017年に創部、現在13名の部員を有するそうだ。「どうして(わざわざ)トイレ研に？」と訊くと、「『電車なら〇〇系が好き』という人がいるように、トイレが好きなんです」と言われ、面食らった。実は、トイレは環境やジェンダー、人間工学など幅広い問題を含んでおり、研究成果を本にして出しているとのこと。自分の価値観は凝り固まっているのだな、無意識の偏見に囚われているのだな、と改めて考えさせられた。キャンパス3階のトイレには女性のみが利用できる個室と性別指定のない個室が並んでいると聞いて、早速利用してみた。とても清潔で、性別に関わらず誰でも利用しやすい配慮のある空間だった。(山下)



「漫画研究会」の部屋を覗いてみた。今まで作成したイラストや漫画を売っているが、意外と静かでひっそりしている。小学生の男の子がパソコンに向かって熱心に何か書いている。「今は漫画もパソコンで書くの？」「う〜ん、手書きで書く漫画家さんもいますけれどね。でも色塗りは絶対にパソコンです」そうか、パソコンだと、何度でも塗り直しができる。すべてパソコンで描く漫画家もいるらしい。そんなことを尋ねればきちんと答えてくれるが、それ以外は沈黙。コロナ禍の中では食事も食堂で黙食をするよう注意書きがあり、黙ってひっそり食べないといけないのだ。2年間もマスクをしてお喋りをしてはいけない生活をしてきた彼らが、はじけるような笑いやぶつかり合いができるのは一体いつになるのだろう。(井嶋)

箕面市の外国人医療 現状と今後の課題

生命の危険をできるだけ避けることは全ての人にとって重要なことであるが、市民生活の観点から言えば、それは防災と医療であろう。ここでは医療に焦点を当てて、現状と今後の課題と考えられることを報告したい。現在、箕面市には2800人を超える外国人市民が住んでいる。医療との関わりはその人の滞在年数や生活環境、日本語会話の状況によって人さまざまである。ここでは日本語が不自由な、何らかのヘルスを必要とする方々について述べるが、日本語が流暢であっても「外国人」と言うだけで適切な医療を受けられなかった、という話も依然として聞くことがある。これから箕面市の外国人医療を取り巻く状況について取材し、今後の課題を何回かに分けて報告したい。

今回は箕面市での外国人医療で箕面市国際国流協会(MAFGA)が行ってきたことなどを紹介する。協会では長年にわたって外国人市民からの各種相談に対応してきており、2021年からは法務省が全国に設置するワンストップセンター(ここに相談すれば、ほかのところに回されることなく対処してもらえるところ)のひとつに指定され、さらに相談事業は充実しつつある。以前から医療関係の相談は多く、2020年度では総相談件数934件のうち75件、2021年度ではコロナの関係もあって総件数883件中229件を占めた。相談は電話や来館で受け付けており、医療機関への通訳の同行が必要な場合は、通訳のボランティア団体である「みのお医療サポートネット」(*1)に連絡を

取り、依頼する。医療サポートネットがカバーしきれない希少言語の場合などは協会のつながりから通訳者を探し、医療サポートネットのメンバーがさらに同行する形をとる場合もある。

この外国人市民の医療をサポートする取り組みは2002年から開始され、その先進性から全国的にも注目されてきた。なお、協会、医療サポートネットとも箕面市民に限定して対処しているわけではないので、口コミで聞きつけて連絡してくる場合もある。時には名前や居場所を聞き取るだけで苦勞するような場合もある。

箕面市に住民登録する外国人に対して市役所の窓口で配られている「ウエルカムパック」の中には、この仕組みについても紹介されている。また困った時に知り合いなどからの口コミを通して、初めて協会-医療サポートネットのことを知り、連絡してくる人もいる。医療機関側にもこの仕組みはよく知られているとはいいがたい。

ノンネイティブであれ、英語で会話できる人は一定数いるが、すべての外国人市民が英語を話すわけではない。また、近年ではネパール語やベトナム語のニーズが高まっているが、それらの言語を話せるボランティアを見つけるのは難しい。活動は病院が開いている平日午前や夕方、しかも依頼はいつ来るかわからない。通訳ボランティアには交通費程度の謝礼しかない。今後、ボランティ

「わかる」だけでは物足りない! 「わかった」だけでは成績は上がらない! 「できる」ように数林は教えます!

学校レベル別個別指導のびっくろ効果!
見逃さないで!!

中1~高1 **成績を上げる! 在籍校別個別指導 1:2**
週1回の通塾でOK! (80分×2コマ)
学校の少し先を先取り学習します。
質問取りではない、丁寧な講義と演習みっちり!!

高2・高3 **大学受験対策個別指導 1:2**
志望大学を攻略する数学力をつける 一人ひとりにあわせた
内容で、志望大学合格レベルに数学力を引き上げます。
基礎復習から共通テスト対策も万全 実践力を鍛え上げ
共通テスト200点獲得へ最短距離で導きます。

学校教材を
使っ
て
もらうから
わかりやすい!



受験よろず相談承ります!!

成績や進路のお悩み、成績を上げる学習ポイントなど、塾長がオンラインで御相談に応じます。(事前予約制・無料)

受験数学専門塾

数林



ホームページ
豊中市本町1丁目2-53 高山第3ビル5F
TEL 06-6852-1925
https://www.suurin.com
mail@suurin.com

アベースのみでこの取り組みを続けていくが限界となる面もあるのではないかな。

協会では毎週火曜日の多言語相談などの機会をつかって、日本の医療システム、例えば健康保険制度、かかりつけ医と大病院(二次、三次医療)の関係などを、母国のシステムとの相違で戸惑うことのないよう説明したりもしている。

現在はコロナ感染の拡大を受けて、これまで実施されていた市立病院での週2日の常駐英語通訳(みのお外国人医療サポートネットのメンバーが実施)は休止状態。発熱患者に対しては医療サポートネットの同行通訳は行っていない、など大きな影響が出ている。

状況が多く変わる中でさまざまな課題も見えている。市立病院での受入など箕面市での外国人医療の公的な仕組みをどうするのか、また協会と医療サポートネットにはこの事業を続けるための財政的な課題も浮上している。希少言語の通訳者をどう確保するのか。さらに、市立病院の建て替えが計画される中、新市立病院での外国人対応はどうなるのか、などなど。

こうした課題についてそれぞれ当事者の声を取材し、また他の自治体で始まっている新たな取り組みについても取材していきたい。国もコロナ前のインバウンド観光客の激増を受けて医療面の対処に乗り出している(*2)。

外国人材の受入を国が進めるなかで、海外から日本に働きに来る人々とその家族は今後も増えて

いくだろう。いずれにしてもコロナでいったんは止まった人の動きが回復するのは早いものと思われる、それに伴って外国人市民の医療の問題もますます重要性を増すものと考えられる。箕面市が医療の面も含めて「誰もが住みやすい多文化共生の先進都市」と言われるようになりたいものだ。(鷲尾)

*1 「みのお外国人医療サポートネット」は2002年以来、医療通訳派遣という非常に難度の高い仕事を長年ボランティアで続けており、これはきわめて先駆的な取り組みである。この団体の活動についてはめろん173号に詳しく紹介されているので参照されたい。この団体は2006年度「地域づくり総務大臣表彰」も受けており、その活動は全国的に知られている。

*2 国(厚労省)では「外国人患者の受入れ環境整備に関する研究」が行われ、その結果として「外国人患者の受け入れのための医療機関マニュアル」(現在は改訂第3版)が出されている。その中で外国人医療環境整備の一環として「医療通訳者の養成」「外国人患者を担当する医療コーディネーターの養成」「電話通訳や通訳機能を備えたタブレット端末の配置」「医療機関の院内体制整備(表示、問診票など)」の整備などが挙げられ、調査が行われ、養成は一部始まっているようだ。



箕面山聖天宮西江寺

役行者により658年飛鳥時代に開山。日本最初の歓喜天霊場。大聖歓喜天は象頭人身のインドの神様ガネーシャが起源とされる。



〒562-0001
大阪府箕面市箕面2丁目5-27
072-721-3190
阪急箕面駅より北へ徒歩約10分



写経・阿字観瞑想・
お茶室体験・ヨーガ
など開催中





「それでも、日本人は「戦争」を選んだ」を読む

加藤陽子著

今年の8月で終戦から77年が経過した。日本では戦争を経験した人は少なくなったが、今年はロシアのウクライナ侵攻で多くの人が心を痛めているであろう。そういう中で友人に勧められ、加藤陽子の「それでも、日本人は「戦争」を選んだ」(21年版、初版09年)を読んでみた。加藤陽子は日本の近現代史の研究者で、2年前学会議会員への任命拒否で話題になった人。本書は中高校生と質疑応答しながら行った講義をまとめたものである。

明治27年(1894年)の日清戦争に始まって終戦(1945年)までの51年間に日本が戦った五つの戦争(日清、日露、第一次世界大戦、日中、太平洋戦争)について、どういう社会環境で、どういう意見、考え方があなかで、どういう外交努力が行われ、どういう経過で「日本人は戦争を選んだ」のか。各々の戦後は、講和会議などでどう外交努力が払われ、日本の社会はどう変わったか。これらについて最新の研究成果を踏まえ、必ず史料となる文書を引用して論じている。易しく書かれているが、内容は少し高度で読みやすい本ではない。しかし面白い。

歴史の面白さ、戦争とは何か

序章では歴史とは何か、戦争とは何かについて基本的な考え方を紹介している。歴史上の出来事はそれぞれ特殊な出来事であるが、それらの中に意外な一致点、そして普遍的なもの(考え方、状況、教訓など)を見つけることが、歴史的な物の見方の面白さ、と著者は説く。例として米国の南北戦争と日本の太平洋戦争が対比されている。先ず、1863年、南北戦争終結前に北軍のリンカーンが「人民の人民による人民のための」政治に身を捧げると演説したが、1946年の日本の新憲法序文にも同じ言葉・考えが書かれている、という一致点がある。

また、ロシア革命のレーニンの言葉「歴史(政治)は数だ」に示されるように「巨大な数の死者

が出た後には、国家には新たな社会契約(憲法)が必要となる」という真理がある、と著者は云う。また、戦争に関して18世紀の思想家ルソーが言った「戦争は、相手国の主権や基本原理に対して挑戦・攻撃がなされたときに

起こる」、「戦争は相手国の社会契約(憲法)の変化を迫る」という言葉を紹介して、これも真理と言う。これらの言葉通りのことが南北戦争、太平洋戦争で起こっている。南北戦争では約20万人の戦死者(太平洋戦争での米軍戦死者の2倍以上)、そして奴隷解放を含む憲法修正が行われた。太平洋戦争では軍民合わせ310万人の日本人の死者、及び中国・太平洋地域の1200万人の民間人犠牲者、そして戦争放棄を含む新憲法が制定され、天皇制から主権在民に変わった。日本国憲法はGHQの押し付け憲法とか言われるが、そういうのは本筋ではないと著者は言う。

一方で著者は第一次大戦の敗戦国ドイツの例を挙げる。交戦国全体で一千万の戦死者が出て、ドイツは帝政崩壊、共和国となり、新憲法もできた。勝者側は国際連盟を作った。しかし結果はナチスが台頭し、戦後20年で第二次大戦に。こういう流れになった原因について、英国などが海軍力増強など力の政策を怠ったからだ、という英国の学者の説を紹介している。新しい憲法や国際連盟などだけで物事がよくなるわけではない。二次大戦後、米ソが核を増強したのも、そういう所からきているのか。

歴史の活用と誤用

日常生活でも、政策立案の場でも、過去の事例や歴史の教訓を活用することが多い。ただ誤用も多



く、米国のベトナム戦争ほか多くの例が挙げられている。政策立案などで正しい判断ができる可能性を高めるためには、広い範囲の出来事が、真実に近い解釈に関連づけられて、より多く頭に入っていることが必要と著者は云う。大変である。将来は歴史資料を集積したAIシステムが開発されるかも知れないと思った。

日本の戦争

本編では五つの戦争について詳しく書かれている。31年に起こった満州事変以降、日本は泥沼にはまり、日中戦争、太平洋戦争、敗戦と進む。この満州事変は、軍部の独断で中国の満洲主要部を占領した事変であるが、事変前の東大生のアンケート調査の結果が紹介されている。事変前にもかかわらず東大生の55%が満洲での「武力使用は必要」、36%が「外交交渉後、武力使用」と答えている。内閣が国際協調路線を唱える中で、軍は将来の戦争に備え資源のある満洲が必要であると様々な扇動活動を行い、東大生もまんまとそれに引っかかって軍の片棒を担いでいる。今の時代でも、そういう事態は起こりうるものであり、我々は常に真実は何か見定める努力が求められると思った。

この満州事変は侵略行為である。時の若槻内閣は

直ちに軍に不拡大方針を伝えたが、収まらず連盟脱退に至る。明治憲法下では、政治・外交と軍事の二つの権力は分けるという考えがあり、内閣の方針の影響力には限界があった。しかも上記東大生の例のように世情は軍支持。天皇に無断の軍事行為であったが、責任問題はうやむやに終わった。天皇は基本的に国際協調の考えで、軍部を抑えられる内閣を希望していたが、満州事変の9か月後には犬養首相が将校らに暗殺され、政党内閣は終わった。そして37年、偶発的な争いから日中戦争が始まる。米国は中国を支援。中国を支援し続ける米国に苛立ち、欧米に代わって東アジアに新秩序を建設すると称して米国との戦争に入る。国力差からすればやっつけはいけない無謀な戦争。軍の横暴を許さない国の仕組みがあれば流れは異なっていたであろう。

米中の対立

この77年間、世界大戦は起きていない。しかし、今、米中の対立がある。77年の間に中国は大国となり、今同じ軍事力レベルの大国が対立している。米中は憲法が大きく異なる。しかし、相手の憲法が気に入らなくても、共生する世界を両国はめざして欲しい。核の時代は、これまでと大きく考え方を変えるべきと思う。(荻野)

春の多文化ボランティアセミナーを受けて ～インターン大学生の雑感～ (前号の続き)

現在学生である私は、大学生活でも数多の「ボランティアサークル」を見聞きしてきた。大学生というものはなぜかボランティアが好きらしく、そういった集団はどこかの大学にも(玉石混交に)存在する。かくいう私もその種の団体に入会した経験があるが、残念ながらそこで目にしたのはおよそボランティアの本分を取り違えた、自己満足と保身に満ちた光景であった。彼らの目は本来むけられるはずの「困っている(と彼らが考える)他者」にではなく、いつのまにか「先輩から受け継いだサークルの存続」すなわち「自分自身」に向けられていた。たまのイ

ベントは後先考えられたものではなく、また自分たちの活動を批判・再考するプロセスは脱落し、美味しいところだけ体験して後は野となれ山となれ、という無責任な集団と化していた。極めつけは数年所属した上級生が、新歓合宿で新入生に昂然とボランティアとは何ぞやを語る。私はその空虚に愛想を尽かし、失望しながら退会届を提出したのだった…。

前置き(余談)が長くなったが、私はボランティア活動の本質のひとつは「困っている相手のために活動すること」にあると考える。突然当然のこ

とを言うようだが、これは実は深く難しいことである。「さぼると」の牧田さんは「相手ファースト」の心構えを説いたが(めろん 8月号参照)、真に「相手のため」を実現するには、相手の状況をよく知り、自分の言動・行動が(相手の)人間関係に及ぼす影響までよく想像して活動しなければならない。何故なら、安易に相手のためと思ってした行動がかえって相手の困難を増長させるケースは少なくないからである。有償無償に限らず、支援や人助けをしようというのなら「相手ファースト」で想像力を働かせ、本当に相手のためになることは何かを考え続けなければならない。

一方で矛盾するようだが、相手をよく知れと言いつつ、私には他者を完全に理解することは不可能であるという悲観的な認識もまたある。では我々はいったいどういう心持ちでボランティア活動に取りくめばよいか。私の今の答えは「相手を理解しようと努力し続ける」である。それは「相手を知る」という努力目標を設定して、サボらず相手に向き合い続けようという気立てである。そしてその気立てによって、より実りある寄り添いが実現していくと考える。だから、上述した「私が考えるボランティアの本質」に言葉を足すなら「困っている相手のために、相手を理解しようという努力を続けながら、活動する」となる。これを今のところの、私の思うボランティアの本質(の

ひとつ)としたい。

私は、ボランティアを始めるきっかけ自体はどんなものであってもよいと考える。履歴書を埋めるために始めるのも、である。きっかけよりも大切なのは内実であり、ボランティアに参加するなかで、自分の行動がほんとうに相手のためになっているか、当初想定した各自の目的をいつのまにか踏み外していないか日々内省・自己批判をくり返すことが最も重要だろう。

第2回のテーマは「ボランティア活動の真髓を語る」であった。パネルトークとグループトークを通じて多様なボランティア観に触れることができたが、さまざま聞いた話のどれにも通底した「相手ファースト」の心掛けこそ、ボランティア活動の真髓のひとつに違いないと感じた。

(協会インターン 杉野)



【2022年度秋の多文化ボランティアセミナー】

① 10月15日(土) 13:30-16:00

13:30- 箕面市国際交流協会の紹介(講師:協会職員)

14:00- 講演:「多文化な子どもの力を育む~母語教室から見えるもの~」

講師:大野アンドレイア(Chat³)、洪美羅(子ども韓国語教室)、
矢元貴美(大阪大学大学院)

② 10月22日(土) 14:00-17:00

14:00-

講演:「医療への壁を超えるために~地域における外国人医療の現状とこれから~」

講師:中村智子・中本剛二(みのお外国人医療サポートネット)、キム・ヴィクトリヤ(立命館大学)

16:00- ボランティア活動紹介

(センターボランティアグループおよび市内国際交流団体によるブース出展)

***詳しくはHPと来月号のめろんをご覧ください。**



2015年から2021年までの6年間、箕面市内の小学校でALT（外国語指導助手）として働いていたエリンさんは、今米国のワシントンDCで、日本のマスコミに勤務している。海の向こうから、不定期でコラムを寄せてもらいます。



あんコーヒーと、 逆カルチャーショックとわたし

アメリカに帰国してから、石橋駅近くの喫茶店で一度だけ飲んだ「あんコーヒー」をふと思い出すことがある。メニューを見た時、これは流石に合わないコンビだなあと考えた。コーヒーはケーキやチョコレートで、あんこにはやっぱり日本茶がいい、それは常識だ。でも、甘いあんこをあっさりしたコーヒーに入れて飲んでみたら、私は思わずニコリとした。あんことコーヒーを両方の味が引き立っていて、びっくりするほど合っていた。「え？あんコーヒー？」日本人の友達とこんな話をしたら、相手の目が丸くなって、はてなマークが飛んでいた。アメリカ人の家族と友達に話すときなら、まずあんこが何かの説明から始めなければいけなかった。あんコーヒーは和菓子が洋菓子の枠に綺麗に分けられないけど、どっちの要素も入っている、日本人にとってもアメリカ人にとっても意外な組み合わせだ。だからこそ6年間日本に住んでいた私は好きなかもしれない。

大学3回生の時、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）に申請したら、箕面の小学校で英語を教える機会を得た。大学を卒業したらもう大人だ、と若い頃は思いがちだけれど、本当は20代前半でたくさんのお金をまだ吸収している時期だ。社会人としての働き方と一人暮らしの生活や、自分の足で立って自分のことを受け入れること、そんなことを日本で学んだ。終業時間の17時にぴったり帰ったら少し罪悪感があって、家では靴なしで良くて、台所にいつもあるものは醤油、みりん、米など。こんな私を見たら、日本人の友達と同僚が、「日本人より日本人みたい！」と笑いながら言う。そう聞くとちょっと嬉しくなる。

そういっても、お肉やお魚を食べないし、お正月よりクリスマスの方が家族や親戚とお祝いする日という思いがあるし、思っていることを一番表現しやすいのがもちろん英語だし、髪の色が明るい茶色の白人だから、日本のどこに行っても目立つ。

「それじゃ、母国にいる方が心地いいんじゃない？」そう思う人は少ないだろう。でも、去年の夏、アメリカに帰ったら、28歳になった私はアパートの家賃をどう払えばいいか、わからないと気づいた。楽しみにした巨大なアメリカンケーキやチョコチップクッキーを食べている途中で止まってしまう、「なんでもこんなにバカ甘かったっけ？」とびっくりする。日本で買った服を着たら、「今日はなんか特別な日なの？」と尋ねられる。なにやら母国のはずのアメリカがまるで外国のように思えてきた。これが世にいう「逆カルチャーショック」か。困ったものだ！（エリン）



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

おざわクリニック

診療時間	月	火	水	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	△	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	○	○	○	△	○
pm5:00~7:30	○	△	○	△	○

※診療開始 30分前から受付します。

- 胃カメラは予約制です。
- 休診日：火・土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日
- http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/
- 【住所】562-0023 箕面市栗生間谷西3丁目7-9 シャトー野間1F 阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い
- ◎無料駐車場 有

TEL **072-730-0721**

fairtrade shop & cafe

エスパーロ 能勢

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00～17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の
多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語・韓国・朝鮮語、中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター

9月
September



comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

9:30 - 11:30 **朝カフェ**
11:30 - 14:00 **ランチタイム** *売り切れ次第終了します
- フルメニュー ¥950

14:00 - 17:00 **午後カフェ**

日・祝日 *ランチはありません

10:00 - 13:00 **世界の朝ごはん** ¥660 (ドリンク付)

★箕面ふるさとカレンダー 2022 のテーマは「料理で世界旅行」
comm cafe のシェフによる「箕面産野菜を使った世界の一品！」
毎月のシェフの日には、カレンダーのメニューが食べられます。

おしらせ

■9月より、昨今の物価上昇に堪えきれず

ランチ価格を 950 円 (税込)

と、させていただきます。

他のメニューの価格変更はございません。

■コロナウイルス感染拡大防止対策のため、
マスク会食にご協力ください。

**2022年4月から、毎週水曜日は店休日と
なっています。現在、新しい活用方法を検
討中ですので、しばらくお待ちください。**

☒… スナック & スウィーツの日 ☑… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
			1 ☒ MAFGA スナック	2 山口さん 《中国》	3 協会主催事業のため ランチはお休みです。	4 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ~ 13:00
5 休館日	6 コフさん 《タイ》	7 店休日	8 アスイエさん 《イラン》	9 ルーパさん 《インド》	10 ☒ MAFGA スナック	11 世界の朝ごはん 《インド》 10:00 ~ 13:00
12 休館日	13 ホーさん 《香港》	14 店休日	15 フランクリンさん 《キューバ》	16 チーム・シカモ 《多国籍》	17 ティーさん 《ベトナム》	18 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00 ~ 13:00
19 [祝日] ☒ MAFGA スナック	20 ルーパさん 《インド》	21 店休日	22 ジェニーさん 《アルメニア》	23 [祝日] ☒ MAFGA スナック	24 トゥエットさん 《ベトナム》	25 日曜日の試食会 10:00-14:00 (14:00 から 通常営業)
26 休館日	27 フランクリンさん 《キューバ》	28 店休日	29 アスイエさん 《イラン》	30 洪さん 《コリア》		

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** ✉: **info@mafga.or.jp**

イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

イベント情報

読書会

Sunday Book Review

9/18 (日)
14:00 ~ 16:00

英語の原書を一緒に読みましょう!
読む本: The Remains of the Day / 日の名残り
著者: Kazuo Ishiguro / カズオ イシグロ

場所: 講座室
参加費: 300円 + ドリンク代
申込み: 初参加の場合要申込

読書会

多文化共生理解のための読書会

9/18 (日)
10:30 ~ 12:00

2022年度のテーマ: 「ウトロ」から知る、在日コリアンの歴史
100年の歴史を、宇治市ウトロ地区の在日コリアンの視点から、日本社会を学ぶ。

定員: 10名程度 (要申込)
場所: ボランティア室
オンライン参加可
参加費: 無料
初回参加者への配布資料があるため、要申込

イベント

キューズモール× comm cafe 食でつながる、このひと、この世界

9/28 (水)
① 10:30 ~
② 13:30 ~

中国の食文化の魅力を伝える。
山口 (中国出身) コーディネーター: 崔聖子

定員: 各5名 (要申込)
場所: みのおキューズモール
Center2F キューズリビング
参加費: 無料

イベント

comm cafe クラファン企画 第3回多文化子ども食堂

9/3 (土)
11:45-12:50

シェフがおいしい食事と楽しいゲームを、外国ルーツの子どもたちとその家族や友人に提供します。今回はコリア料理。
◎崔聖子、金姫廷 (コムカフェシェフ・韓国出身)

対象: 外国ルーツの子どもとその保護者
定員: 25名 (要申込)
場所: comm cafe
参加費: 子ども 100円
大人 300円

就職セミナー

日本で働きたい人への就職支援セミナー

9/24 (土)
13:30-16:30

外国人市民向け、日本で働くとき、最初に知っておきたい基礎知識を学びます。就職活動で役立つ実践的な準備を行います。
①個別キャリアカウンセリング 水江泰資 (FAJ日本ファシリテーション協会)
②履歴書の書き方 個別アドバイス 岩城あすか (箕面市国際交流協会)
①② 各セッション30分 通訳を希望する場合は、前日までに連絡を。

対象: 外国人市民
定員: ①各6名 ②20名
(要事前申込)
場所: 講座室
参加費: 無料

10/8 (土)
13:30-16:00

日本での面接攻略、仕事のための実践日本語、日本の職場マナー
◎張茜 (箕面市国際交流協会)
通訳を希望する場合、英語のみ可能 9/24 までに要申込



まふがっこ

多文化体験・交流・学びクラブ まふがっこ

10/1 (土)
14:00-16:00

2022年度も地域の子どもたちを対象にした恒例企画。
まふがっこになって、世界につながろう!!
【テーマ】イラン・モンゴル・韓国・タイの文化と遊び

対象: 小学生
定員: 10名 (要申込)
場所: 講座室
参加費: 無料

唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で40年の歴史~

*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授資格取得証明書(Dipolma)や、日本徒手療法士会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才~80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。



〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)
072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。
 コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。

みんぱく 9/1 (木) ～ 11/23 (水・祝)	特別展 しゃべるヒト～ことばの不思議を科学する～ 身近にありすぎてほとんど振り返ることのない「コトバ」をテーマに、言語学のみならず、文化人類学、工学系、教育系、脳科学、認知心理学等の50名を超える国内外の研究者が協力して、その不思議をおみせします！会場入り口には、日本で使われている30言語を話す方々が登場！	場所：国立民族学博物館 特別展示館 (吹田市千里万博公園 10-1) 観覧料：一般 880 円、大学生 450 円、高校生以下 / 障害者手帳をお持ちの方 無料 問合せ：国立民族学博物館 06-6876-2151
映画祭 9/2 (金) - 9/23 (金・祝) ～	第 15 回関西クィア映画祭 「性」をテーマに、国内外からの映像作品を上映するお祭りです。今年のテーマは、「ノンバイナリー」トークも充実 ①大阪会場 @シネマート心斎橋 ②京都会場 @ゲート・インスティテュート・ヴィラ鴨川 上映作品、チケット情報については、HP を参照ください。	場所：①シネマート心斎橋 (大阪市中央区西心斎橋 1-6-14) ②ゲート・インスティテュート・ヴィラ鴨川 (京都市左京区吉田河原町 19-3) 問合せ：関西クィア映画祭実行委員会 https://kansai-qff.org/2022/
上映会 9/10 (土) 13:00-16:15	大阪 YWCA ピースフェスティバル 2022 「ワタシタチハニンゲンダ！」映画上映とトーク 「アイたちの学校」高賛侑監督の最新作。数々のインタビューや入管内部の映像などを通して、外国人に対しての差別的な政策を明らかにする映画を見て、何が出来るか共に考えませんか。	場所：大阪 YWCA 梅田本館 参加費：一般 1,500 円 学生 1,000 円 主催・申込：大阪 YWCA 06-6361-0838 info@osaka.ywca.or.jp
イベント 9/15 (木) 10:00-12:00	第 1 回やさしい日本語研修会 基礎編 「やさしい日本語」の開発された経緯と基本的なルール 「やさしい日本語」の簡単な書き換え練習 「やさしい日本語」に関する取り組み紹介 ©「やさしい日本語」有志の会 杉本篤子	場所：ZOOM 参加費：無料 定員：50名(先着順) 主催・申込：OFIX (公財)大阪府国際交流財団 06-6966-2400
マーケット 9/17 (土) 10:00～	サパナマーケット 豊中駅から徒歩5分。ネパール語で「夢」を意味する、カフェ・サパナでは、毎月第3土曜日に、マーケットを開催しています。ネパールやアフガニスタンからの商品や、地元の採れた野菜。フードも、お寿司からネパールカレーまで様々並びます。	場所：カフェ・サパナ (豊中市本町 3-3-2) 参加費：無料(飲食・ワークショップは各ブースで支払いあり) 主催：国際交流の会とよなか TIFA
イベント 9/17 (土) 13:00-17:00	まちまち市 まちまち市は、まちでの暮らしにまつわるいろんな「まちまち」に出会えるマルシェです。お買い物やワークショップなどを通して、それぞれのストーリーとの出会いをお楽しみください。	場所：みのおキユーズモール キュースステージ周辺(箕面市西宿 1-15-30) 参加費：無料(ワークショップへの参加は各ブースで支払いあり) 共催：みのおキユーズモール、良品計画「無印良品」、イーチ合同会社、暮らしづくりネットワーク北芝
巡回展 9/21 (水) ～ 25 (日)	北海道「笹の墓標展示館」巡回展 戦時下の北海道、深名線鉄道工事、雨竜ダム工事、浅芽野飛行場建設工事などで犠牲になった日本人、朝鮮人の遺品を展示。犠牲になった人々を思いながら、東アジアの未来に希望をつなぐ巡回展。	場所：本願寺津村別院 (大阪府大阪市中央区本町 4-1-3) 参加費：無料 主催：笹の墓標展示館再生・和解と平和の森を創る実行委員会 https://www.sasanobohyo.com/

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう！
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得

昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
 E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

めろんの広報にご協力ください!

「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会やPTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいませんか。置いてくださるお店なども大歓迎! お問合せお待ちしております。

編 集 後 記

この春から3か月ほど、クルド人ジャーナリストのイルファン・アクタン氏が、京都大学を拠点とする研究プロジェクトのためトルコから招かれ、調査研究をおこなっている。数年前から署名記事を読んでいたので、7月初旬に京都大学の公開セミナーで出会えたときは感激した。彼は、在日コリアンと日本の両方のルーツをもつフリーランスの記者、中村一成さん(協会のボランティアセミナーへも講師として来てくれていた)のルポルタージュを書きたいそうで、後日イルファンさんのトルコ語通訳として同席する機会を得た。

戦前、植民地支配をしていた地域から日本へやってきた人たちに対してとられた管理・抑圧的な政策がいまの入管政策に脈々と引き継がれていること、また、この間の日本滞在中に広島や京都の朝鮮学校を訪問し、日本の在日コリアンをめぐる状況をかなり知った上でのインタビューだったので、日本の在日外国人施策や市民の反応に関する質問が多かった。世界のどこにも国家をもたないクルド人と、南北に引き裂かれた歴史的経緯をもつ在日コリアン。国家をめぐる対応は異なるものの、各国のマジョリティ層から長年抑圧されてきた社会構造や差別的待遇は同質のものだと改めて感じた。

その中でイルファン氏からの「日本の外国人たちは、連帯して政府や市民に訴えているか?」という問いが印象に残った。一成氏は、「20年ほど前は、教育の分野で一時期連帯してマイノリティの教育環境の改善を求める運動がみられたが、いまは下火になっている」とのこと。

この20年間、ネット右翼が台頭し、政府も含めて右傾化する傾向があることに加えて、長引く不況やコロナ禍等で厳しい状況が続く中、さまざまな外国籍住民から切実な声が寄せられている。私たち国際交流協会こそが、彼らが色々なコミュニティにつながり、横断的なネットワークをつくるきっかけを提供できるということ、そしてこの声をしっかりと紡ぎながら広く訴えかけ、つながりを強固にしていく役割を担えるのだと、注力すべき今後の方向性がみえた機会となった。(岩城)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
 - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ:(公財)箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター
Tel:072-727-6912 Fax:072-727-6920 E-mail:info@mafga.or.jp

HP:www.mafga.or.jp FB:facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル:http://portal.mafga.or.jp/